

「群馬にある4基の石碑をなぜ上野三碑ともう1つに分けるのか」

1224 高他佑生

国内には18基の石碑があり、そのうち4基が群馬にあります。私は国内にある石碑の数の約4分の1が群馬にあることはすごいと思いましたが、東国文化副読本を読むまでは群馬にある石碑は上野三碑の3基だけしか知りませんでした。私だったら4基をまとめて群馬にはこれだけたくさんの石碑があるのだと知ってもらえるようにするのがよいと思いましたが、実際には3基ともう1つに分けています。これでは4基あることをアピールできないと思ったので、なぜこの様に分けるのか疑問に思い、このことについて調べることにしました。

群馬にある石碑 「山上碑・多胡碑・金井沢碑（上野三碑） 山上多重塔」

山上碑 建てられた年 飛鳥時代 681年10月3日

(完全な形で残っている石碑では日本で最古の石碑)

建てた人物 放光寺の長利(ちょうり)という僧

目的 長利の母の供養のため

種類区別 追善供養碑

場所 高崎市山名町字山神谷 2104

特徴 石をあまり加工しないで使っている

朝鮮半島の新羅(しらぎ)の6世紀頃の石碑に似ている

→新羅の石を使っている

長利が勤めた放光寺は前橋市総社町にある「山王廃寺(さんおうはいじ)」だと推定されている。また、山王廃寺は東国有数の大寺院であった。

長利の母は佐野三家(さのみやけ)の子孫、父は赤城山の方の豪族の子孫である。←上野国の有力豪族の子孫

山上碑からは、ユーラシア大陸から伝わった漢字文化や仏教信仰がどの様に日本に根付いたかを知ることができる。



多胡碑 建てられた年 奈良時代初めの和銅（わどう）4年 711年
建てた人物 羊という渡来人であると考えられている
目的 「多胡郡」という新しい都をつくった記念
種類区別 建郡碑
場所 高崎市吉井町池字御門 1095
特徴 碑身（ひしん）という文字が掘られている石に笠石（かさいし）をのせている
楷書体（かいしよたい）で書かれている
→当時の最先端の中国文化が取り入れられている

多胡郡の範囲（現在の高崎市山名町から吉井町）はヤマト政権と直接関係があった。

多胡碑を建てた羊は多胡郡を建郡する際にも大きな役割を果たし、初代の郡長官になった。

多胡碑は東アジアの文化交流の様子を示している。

（和銅 708年～715年 6つ目の元号）



金井沢碑 建てられた年 奈良時代前半 神亀（じんぎ）3年

726年2月29日

建てた人物 仏教の教えで結ばれた佐野三家一族

（佐野三家 佐野周辺の天皇の領地を管理していた豪族）

目的 一族の繁栄を祈るため

種類区別 供養碑

場所 高崎市山名町字金井沢 2334

碑文より、当時は女性が結婚しても実家の氏の名で呼ばれていることがわかる。また、子供達の名も一族の繁栄を祈るための石碑に彫られているため、家族の繋がりに女性が大きな役割を果たしていたと考えられる。

県内で最古の「群馬」の文字が彫られている。

金井沢碑からは当時の東国での仏教の広がり、家族関係、行政制度の実態などを知ることができる。

（神亀 724～729年 9つ目の元号）



この3つの石碑は平成29年10月31日にユネスコ「世界の記憶」に登録された。

（上野三碑ホームページ city.takasaki.gunma.jp 上野三碑パンフレットより）

山上多重塔 建てられた年 平安時代初期の延暦（えんりゃく）20年

801年7月17日

建てた人物 道輪という僧

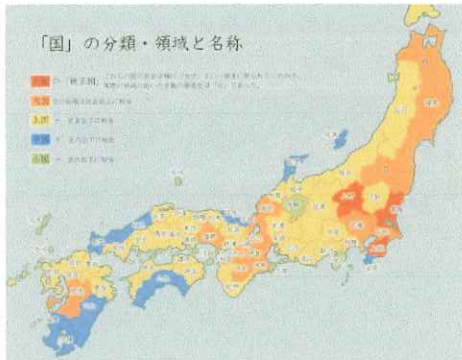
目的 安楽と平和を願うため 供養塔
場所 桐生市新里町山上 2555
特徴 塔身は上層・中層・下層の三層になっていて、それぞれの
塔身には朱が塗られている
45文字が刻まれており、上層から右回りに中層・下層と
読む

形式上では「塔婆・石造三重塔」といわれていて、国指定重要文化財に昭和18年6月9日に登録されている。

(延暦 782~806年 18番目の元号)

(桐生市ホームページ city.kiryu.lg.jp より)

石碑が建てられた頃は今の群馬全体が「上野」となっていた。



調べて見てわかったこと

- ・ 上野三碑は一部分に集中しているが山上多重碑は離れたところに建てられている
- ・ 建てられた年も上野三碑はほぼ同じ時期に建てられているが山上多重碑は3つの石碑より約100年後に建てられている
- ・ 建てた目的、種類区別は山上碑と金井沢碑が「供養」多胡碑が「記念」山上多重碑が「供養(塔)」である
- ・ 「上野」とは群馬県全体のことを指す

調べて見て考えたこと・まとめ

建てられた目的、種類区分は山上碑と金井沢碑は家族の供養だが、山上多重碑は建てられた時期の平安時代では伝染病などが流行していたため、家族に関わらず、伝染病で亡くなった人たちの供養だと考えた。

4つの石碑は同じ上野にあることがわかったため、まとめてしまってもよいと思ったが、上野三碑は建てられた時期がほぼ同じで、その時代にしては進んだ技術などが石碑には取り入れられていて、日本にはどのような文化が入ってきたのかを知ることができる重要な資料であり、場所も一部分に集中しているためこの様にまとめられたのだと思った。また、同じ石碑でも山上多重碑は「塔」であるため3基ともう1つに分けているのだと考えた。